

平成 21 年 10 月 6 日

お客様各位

「広告付きバス停留所上屋」 供用開始のお知らせ

広告料収入でバス停上屋の設置と維持管理が可能に

いつもバスをご利用頂き、ありがとうございます。

この度、社団法人熊本県バス協会及び、熊本市で路線バスを運行する熊本市交通局、熊本電気鉄道株式会社、熊本バス株式会社、熊本都市バス株式会社、九州産交バス株式会社は、エムシードウコー株式会社との契約に基づき、国土交通省及び警察庁の規制緩和により可能となりました「広告付きバス停留所上屋」を、各関係官庁のご尽力により、「日銀前（迎町・川尻方面）」、「日銀前（熊本交通センター方面）」に設置し、10月 8 日より供用開始します。広告付きバス停留所上屋は、バスを利用されるお客さまの利便性が増すだけでなく、街の景観や美観、さらに夜間における防犯や防災の観点からも全国的に注目されています。

本事業は、2003年の規制緩和により実施可能になりました上屋の製造、設置、維持管理をエムシードウコー社が無償で請け負うため、バス事業者及び自治体は自らの費用負担なしに公共輸送のインフラである上屋整備を行うことが出来るようになりました。また都市景観整備の新技术としても注目されております。

日本におけるこの事業のパイオニアであるエムシードウコー社は、札幌から長崎まで既に全国35都市で本事業を展開しており、熊本市は36番目の都市となります。

上記2箇所にて一定期間の検証を行った後、熊本市内で順次規模を拡大することが検討されていますので、お知らせいたします。

バスシェルターと広告に関する問合せ先
エムシードウコー株式会社 06-6392-1412

「広告付きバス停留所上屋」 事業について

この事業は、ストリートファニチャー事業（1960年代にフランス、リヨンで誕生したPPP手法）を世界52カ国、3,500都市で展開するフランスのジェーシードウコー社と三菱商事(株)が設立したエムシードウコー社が日本の多くの都市に提案しているものです。

事業の内容は、これまで自治体、バス事業者などが整備していたバス停留所上屋を民間企業であるエムシードウコー社が製造、設置、維持管理（補修、交換、清掃など）まで、長期間にわたり全て無償で行い、上屋に添加された広告スペースを販売し、その広告料収入により運営する完全独立採算型事業です。

岡山市を皮切りに（平成15年3月31日 供用開始）すでに日本の35都市で事業展開済み、1070基以上の広告付きバス停が設置済みです。

日銀前（迎町・川尻方面）写真

